

愛知県勤労者山岳連盟第 52 期登山学校は中止とします

新型コロナウイルス感染症にかかわる緊急事態宣言が 5 月 25 日、全地域で解除され、市民生活や経済活動も段階的に以前のような状況に戻そうという動きが出始めました。

まだ終息したわけでもなく、第二波第三波に襲われる可能性も十分ある中で、コロナと付き合いながら生活を立て直していくことが呼びかけられています。

3 月 29 日からスタートする予定であった愛知県勤労者山岳連盟第 52 期登山学校は、新型コロナウイルスの影響による「延期」をお知らせしました。

この「お知らせ」には、「延期」という形で可能な限り開講を追求し、「当面 5 月末まで二カ月間、開講を遅らせるとともに、その間に改めて、このような事態や期間を考慮したカリキュラム編成による実施要項の告知と、52 期登山学校の受講者を再度募る」ことをお伝えしましたが、その後の事態は一層厳しく深刻なものとなり、新型コロナウイルス感染の影響は当初予想をはるかに超えたものとなりました。

緊急事態宣言が解除されても、市民の生活・勤務環境での行動の制約や細かなしぼりはそのまま残っています。同様に、私たち登山者や登山環境にも新しいマナーや制限が示され、その対応を求められるようになることが考えられます。これまでのブランクを取り戻し、以前のような登山活動ができるようになるためには相当な時間がかかるでしょう。

このような中で、今期の登山学校を実施することは現実的に難しいことから、残念ながら、第 52 期登山学校は中止せざるを得ない、と判断するにいたりました。

愛知県連盟が発足して以来、連綿と開講されてきた県連盟の登山学校は、一年間のブランクを作ることになりますが、来期以降も可能な限り新しい動きや新しい状況、情報を的確に把握し、それらをカリキュラムや運営にも反映させながら、愛知県連の会員教育の大きな柱を担う取り組みとしての登山学校を追求して行きたいと考えています。

2020 年 5 月 25 日

愛知県勤労者山岳連盟登山学校コーチ会議